

ジョブコーチ支援

■支援の目的

障害のある方が職場に適応して働き続けるためには、一人ひとりの特性を踏まえたきめ細やかな支援が有効です。ジョブコーチ支援では、ジョブコーチ（職場適応援助者）が事業所へ出向き、職場適応や雇用管理に関する支援を行い、企業への就職や職場での定着を目指します。

■支援体制

障害者職業カウンセラーとジョブコーチが、支援計画に基づいてチームで支援を行います。



■支援内容

◆対象者支援

- 基本的労働習慣の習得
- 人間関係の構築・安定
- 作業遂行力の向上

◆事業主支援

- 作業指導、職務設計に関する助言
- 障害特性の理解促進
- 支援ノウハウの蓄積

◆家族支援

- 職業生活を支える支援体制
- 事業所との連絡、連携体制確立

■支援開始タイミング

①雇用前（雇入れ検討のための職場実習）、②雇用と同時、③雇用後、どのタイミングからでも開始できます。
※雇用前（職場実習）支援中は当センターの規定による損害等の保障が適用されます。
また受け入れ事業所に対して謝金をお支払いします。

■支援期間（集中支援期～移行支援期）

支援計画に基づいて、1ヶ月から7ヶ月の間で支援期間を設定します。標準的な支援期間は、2～4ヶ月です。

集中支援期

■集中支援期

職場適応上の課題を改善するための支援を集中的に行います。

移行支援期

■移行支援期

支援回数を徐々に減らし、支援の主体をジョブコーチから、事業所の担当者に移行していきます。

フォローアップ

■フォローアップ

支援期間終了後も、支援体制や状況の確認等を行います。

※地域の社会福祉法人等に配置されている第1号職場適応援助者との連携による支援も実施しています。